

BLS0プロバイダーコース in 宮崎 2017



日常的に周産期領域に携わる医療従事者に対するALS0コースに対し、「産科救急に遭遇する可能性があるプロバイダー全てが標準化されたコースを学び、救急救命士から救急部スタッフ、産科医へと連携をとることで妊産婦死亡・後遺症を減らすことができるのではないか」という観点に立ち、周産期のより切迫した内容へ対応するために基本的なトレーニングコースとして作成されたのが Basic Life Support in Obstetrics (BLS0) プロバイダーコースである。

日本におけるコースの内容は、受講対象者を救命救急士、救急科の看護師・医師、家庭医などの、日頃は産科医療に関与していないが、車中分娩や妊産婦救急に遭遇することがある者を対象としている。コース内容は講義とマネキンを用いた実習が中心であり、①妊婦の評価、②車中などでの分娩介助、③新生児蘇生、④産後大出血を中心とした妊婦蘇生となっている。BLS0コースを受講し、試験に合格した場合、参加者はAAFP ALS0-Japanが認定する5年間有効な認証を受ける事ができる。

名称:BLS0プロバイダーコース in 宮崎 2017

主催:宮崎大学医学部附属病院救命救急センター

共催:NPO 法人周産期医療支援機構

(〒926-0867 石川県七尾市桜町 12 番地)

日時:2017年2月5日(日) 8:30~17:30

会場:宮崎大学医学部 総合教育研究棟(変更の可能性あります)

住所:宮崎県宮崎市清武町木原5200番地

定員:18名

参加費:12,000円(昼食代を含む:500円)

申し込み方法:12月5日(月)~14日(水)の間、専用サイトから募集

<http://my.formman.com/t/PLMs/>

備考:宮崎県内に従事している方で、将来的に宮崎県内開催のコースを

担っていただける意志がある方を優先させていただきます。